

TSUMUG I 通信 VOL.1

2020/4/19

一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薗町長屋 1 9 6 3

(株)エポリューション内 (☎0596-65-7007 FAX0696-65-7006)

～人と人の縁を紡ぎ、地域と地域を紡ぎ将来に命を紡いでいくという思いを込めて
「TSUMUG I 通信」としてこれから発信してまいります。～

い
あ
い
さ
つ



代表理事理事長 川井 勝
(内閣府地域力創造アドバイザー)

2015 年度に開始した地方創生政策の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の第 1 期が終了し、本年度から第 2 期が始まりました。

残念ながら少子高齢化を起因とする人口減少は依然として解決されておらず、また東京圏への人口集中も改善されていない状況にあります。

加えて、新型コロナウイルスの感染拡大による社会不安・景気後退が一層社会課題を増幅させる極めて深刻な事態となりつつあります。

こうした中、今こそ地域の中で全ての組織や人々が情報共有し、かつ連携してお互いが支援を行うネットワークが必要です。

そこで産学官が連携して柔軟な対応を行って、効率よくスピード感のある活動により課題解決につながるように地域のみんなが助け合える組織として広げてまいります。

今年は庚子年、始まりの年です。多くの方にご参加いただき、相互扶助体制を支援することで持続可能な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

社会情勢の変化は、ライフスタイル、働き方、地域、文化、社会インフラの運用などに大きな影響を及ぼします。インターネットやスマートフォンの登場はその代表的な例です。喫緊の新型コロナウイルス感染症対策によって、これからの社会の変化は未知数です。

進むべき未来は、持続可能な社会であると思っています。多様な技術をうまく組み合わせた適正技術の活用により、エネルギーや自然環境・社会環境を制御し、安全な食料・食品や資源・製品の生産と配分が行われ、すべての人が健康に過ごし、活躍できる職場と協働による社会活動の実践場所が身近にあると嬉しいです。

未来を創るのは「人」と「人」のつながりです。産業界（民間企業）と、官（国・地方自治体）、学（教育・研究機関）と民（地域住民・団体）に所属する人々を、当法人がつなぎます。ご参加いただくことで、皆様のご意見、課題、思いを分かち合い、会員の長所を生かしてお知恵を拝借しながら解決策を創出しましょう。より良い未来のために進むべき方向性を見出して、ともに歩んで参りましょう。



理 事 長屋祐一
(三重大学生物資源学部准教授)



理 事 矢野次男
(三重県農林水産部参事)

近年の地方での急激な人口減少は社会の大きな歪となり、多くの地域で様々な問題が生じています。また、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスは、我が国の東京一極集中や働き方などこれまでの社会の流れを大きく変えてしまうかもしれません。

このような激動の時代にあって、自治体や地域では様々な創意工夫による地方創生の取り組みが行われ成果を上げてきています。しかし中には、それぞれの取り組みをつなぎ合わせ協力し合うことでさらに大きな成果につなげられる、そんな事例もたくさんあることを実感しています。

「三人寄れば文殊の知恵」、産学官の知恵と仕組み作りと実践で地域の課題を解いていく、「地域連携ネットワークみえ」がそんな活動の場になれるよう、皆さんとともに頑張っていきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大というこれまでに日本が経験のしたことがないまさに未曾有の国難というべき時期からの船出となった「地域連携ネットワークみえ」。我々民間企業は経済活動の制約を突き付けられています。

我々は、これまでの常識を大きく変え、テレワークに始まる働き方、人が集まらない仕事の仕方、サービスの在り方など各企業は無駄な業務と本当に価値のある業務の選別を行いコロナとの闘いに臨んで高いパフォーマンスを得ようと考えています。

これは一見すると個人や組織が分断する流れのようにも見えますが、この本質は有事の際の個人や組織の対応力や柔軟性が問われているものだと思います。

個人や組織のリーダーは時にして孤独になりがちなものですが、こんな時こそ、地域の中で様々な人の情報や取り組みを共有し、連携することで皆様の判断の後押しをし、課題解決への対応力と柔軟性を研ぎ澄ますそんな活動の場に「地域連携ネットワークみえ」がなれるように皆様とともに頑張っていきたいと思います。



理 事 三輪時弘
(中小企業診断士・不動産鑑定士)



監 事 山中利之
(公認会計士・税理士)

監事に就任しました山中利之です。かつて漁業や林業、電源開発等で活気のあった三重県南部の市町は、産業構造の変化、人口減少に伴う需要の減少、後継者不在による廃業で地元の企業も急速に減少しつつあり、寂しくなっていました（私の母方の故郷が尾鷲ですので、特にそのように感じます。）。「一般社団法人地域連携ネットワークみえ」に参加し、地域社会の活性化のため活動しようとする方々に、公認会計士及び税理士としての経験を活かしまして、起業及びその後の事業の継続のために助言をさせていただきたいと存じます。

※一日も早くこの事態が収束し、会員のみなさまとの交流会が開催できますことを願っております。